

県内主要文化施設の催し紹介 (2月下旬～4月中旬)

●新潟県立図書館（新潟市中央区女池南3-1-2）

開館時間：火～金曜日 午前9時30分～午後7時

土・日・祝日 午前9時30分から午後5時

催事名1 第1回県の仕事に少し触れてみる講座 「生活習慣病を予防し健康な身体を維持する」

内容：この講座では、日々の生活に役立つ情報を、県の様々な分野のエキスパートが講演いたします。第1回目は、医師で県福祉保健部副部長の山崎 理氏から、生活習慣病の予防について講演していただきます。「食べる・動く・休む」のバランスのとれた生活習慣を身につけることは、大切だとわかっていても、なかなか難しいことです。

予防のために押えておいてほしいポイントと、それを支える新潟県の取組を、講師ご自身の体験も交えてお話ししていただきます。日常の中で、「やってみようかな」「これならやれそう」と思えるヒントを見つけてください。

講師：新潟県福祉保健部副部長 医師 山崎 理 氏

日時：2月18日（火） 午後1時30分～2時30分

会場及び定員：新潟県立図書館2階 大研修室 50名

聴講料：無料 ただし、事前の申込みが必要です（先着順）。

申込み方法：必要事項を明記の上、はがき、ファックスによる申込み、県立図書館ホームページの各種申込み案内からの申込み又は来館（カウンター）にてお申込み下さい。

★申込時明記事項 ①催事名、②開催日、③申込者の氏名・郵便番号・住所・電話番号

★はがき送付先 〒950-8602（住所省略可） 新潟県立図書館

★FAX 025-284-6832

★<http://www.pref-lib.niigata.niigata.jp/>の「各種申込み案内」
から

催事名2 第6回新潟県立図書館所蔵美術品紹介講座「書作品一良寛、
会津八一を中心に」(仮)

内容：東洋独自の美術である書、その歴史的流れについて、良寛や八
一の作品を題材にしながらお話しします。

日時：3月12日(水) 午後1時30分～3時

会場及び定員：県立図書館大研修室 50名

聴講料：無料 ただし、事前の申込みが必要です。(2月中旬申込開
始予定・先着順)

申込み方法：催事名1と同じ。

催事名3 早春コンサート

内容：懐かしい日本の歌をお楽しみいただくコンサートです。

日時：3月16日(日) 午後1時30分～3時

会場及び定員：県立図書館ホール 186名

鑑賞料：無料 ただし、事前の申込み(先着順)が必要です。

申込み方法：催事名1と同じ。

お問合せ先 新潟県立図書館 TEL 025-284-6001

●新潟県立文書(ぶんしょ)館(県立図書館内)

開館時間：火～金曜日 午前9時30分～午後7時

土・日・祝日 午前9時30分～午後5時

催事名1 平成25年度文書館基礎講座 第4回「県財政はつらいよ！～
昭和苦勞編～」

内容：新潟県の財政が逼迫した昭和初期。その時の新潟県の苦闘を紹
介します。

日時：2月13日(木) 午後1時30分～2時30分

定員、申込み等：定員180名、事前の申し込みが必要で先着順となり
ます。講座の前日までに電話又は来館にてお申込みください。聴講
料は無料です。

催事名2 平成25年度文書館基礎講座 第5回「北越詩話」に懸けた情

熱～坂口仁一郎のライフワーク～

内容：文書館所蔵の「北越詩話」の原稿を紹介しながら、坂口仁一郎の人となりを紹介します。

日時：2月20日（木） 午後1時30分～2時30分

定員、申込み等：催事名1と同じ。

催事名3 平成25年度第3回文書館歴史講座 「ふるさと発見、ムラの神様で掘り起こす地域の歴史」

内容：あなたはムラの神様の名前、由来を知っていますか。新潟県は全国で一番、神社の数が多いい県です。神様がわかればその村の歴史がわかるとも言われています。

今回は、文書館資料を用いて、神様とムラの歴史を読み解いていきます。そこには、ムラの成り立ちとの深い関わりが見えてきます。

日時：3月8日（土） 午後1時30分～3時

定員、申込み等：催事名1と同じ。

お問合せ先 新潟県立文書館 TEL 025-284-6011

●新潟県立万代島美術館（新潟市中央区万代島5-1 朱鷺メッセ内 万代島ビル5階）

開館時間：午前10時～午後6時（観覧券の販売は午後5時30分まで）

入館料：企画展、所蔵品展によって異なります。「企画展」と「所蔵品展」を入れ替えて開催しているため、「常設展」はありません。

催事名1 企画展「篠山紀信展 写真力」

内容：50年にわたり撮影されてきた、写真家篠山紀信の膨大な作品の中から有名人の肖像を中心に「写真力」みなぎる傑作の数々を展示します。

期間：3月2日（日）まで

観覧料：一般1,000円、高校・大学生800円、中学生以下無料

身体障害者手帳をお持ちの方、第1種身体障害者手帳をお持ちの方の付添者及び車椅子利用の方の付添者は1人が無料

催事名2 Noism 写真展

内容：篠山紀信氏撮影によるりゅーとぴあ劇団専属舞踊団 Noism の

写真展です。企画展「篠山紀信展 写真力」の開催期間中、美術館ロビーで開催します。

期間：3月2日（日）まで

観覧料：無料

お問い合わせ先 新潟県立万代島美術館 TEL 025-290-6655

●新潟県立自然科学館（新潟市中央区女池南3丁目1番1号）

開館時間：午前10時～午後5時

入館料：大人550円、小・中学生100円

身体障害者手帳をお持ちの方、第1種身体障害者手帳をお持ちの方の付添者は1人が無料

入館料＋プラネタリウム観覧料：大人750円、小・中学生200円

身体障害者手帳をお持ちの方、第1種身体障害者手帳をお持ちの方の付添者は1人が無料

企画展観覧料：その都度定めます。

「さわって・聞いて」楽しめる常設展示の一部のご紹介

場所：「自然の科学」の2階の展示物から

★宇宙からのメッセージ

隕石は、地球にいながらにして手に入れることのできる地球以外でできた物質です。ほとんどの隕石の年齢は、46億年、太陽系と同年代です。つまり、太陽系誕生のカギを握っているのです。ここでは、2種類の貴重な本物の隕石、イミラック隕石とオデッサ隕石にさわることができます。

★化石コーナー

地球の歴史のなかで絶滅してしまった生物は恐竜も含めてたくさんありますが、それらの生物たちの姿や生活の様子を化石から知ることができます。ここでは実際の本物の化石に触れて、過去の生物達の姿を感じてください。

★ブナの木や動物に触ろう

新潟県の奥三面地域をモデルとしたブナ林展示の一画に、ブナ林に生息する木の樹皮や動物の体にさわれるコーナーがあります。そ

れぞれの特徴や違いを確認してみてください。

★ブナ林の野鳥たち

夏のブナ林のコーナーでは、シジュウカラやキビタキ、ヒガラ、クロジ、ゴジュウカラの鳴き声をきくことができます。

問合せ先 新潟県立自然科学館 TEL 025-283-3331

●新潟県立植物園（新潟市秋葉区金津186番地）

開館時間：午前9時30分～午後4時30分（入館は午後4時まで）

入館料：大人600円（65歳以上500円、ただし、証明できるものが
必要）、高校・大学生300円、小・中学生100円

身体障害者手帳をお持ちの方、第1種身体障害者手帳をお持ちの方
の付添者は1人が無料

催事名1 企画展示「にいがたの花展」

内容：全国シェアの90%を占めるアザレア、切り花生産量全国1位の
チューリップ、その他にもボケ、雪割草、クリスマスローズなど新
潟県特産の花々を展示します。

期間：2月19日（水）～4月6日（日）

3月9日（日）まではアザレア中心、3月11日（火）からはチュー
リップ中心の展示です。

会場：観賞温室第2室

催事名2 特別展示「新潟・館林 ツツジでつながる園芸文化」

内容：江戸時代から近代までの新潟と館林のツツジを中心とした園芸
の歴史を解説し、本県初公開となる群馬県館林市のツツジ登録品種
や宇宙ツツジ、他では見る事ができない江戸時代のツツジの古典
的園芸品種、近代の新潟を代表する花などを展示します。

（主催：食と花の世界フォーラム組織委員会、新潟県立植物園）

会場：観賞温室第3室2階

期間：3月4日（火）～3月9日（日）

催事名3 花と緑の教室「カフェ de カルチャ アロマフェイシャルソープづくり」

内容：NARD JAPAN 認定のアロマインストラクター 石附園子氏

を講師に開催します。

日時：3月9日（日） 午後1時30分～3時

会場：花と緑の情報センター（入場無料）

定員：15名 事前の申込みが必要（開催日の1か月前から申込受付）

参加費：1,200円

催事名4 花と緑の教室「植物園花散歩（チューリップ観賞）」

内容：職員の説明を聞きながら、温室内のチューリップを観賞します。

日時：3月20日（木）午前10時～11時30分

集合場所：花と緑の情報センター（入場無料）

定員：15名 事前の申込みが必要（開催日の1か月前から申込受付）

参加費：無料

お問合せ先 新潟県立植物園 TEL 0250-24-6465

●新潟市美術館（新潟市中央区西大畑町5191-9）

開館時間：午前9時30分～午後6時

コレクション展観覧料：一般200円、高校・大学生150円、小・中学生100円

身体障害者手帳をご提示の方、第1種身体障害者手帳をご提示の方の付添者は1人が無料

企画展観覧料：その都度定めます。

催事名 企画展 ニイガタ・クリエーション

内容：新潟で生まれ、国内外で活躍している美術家たち。インスタレーションの阪田清子、彫刻の富井大裕、絵画の丸山直文、そして舞踏のNoism（りゅーとぴあレジデンシャルダンスカンパニー）を取りあげ紹介します。

期間：2月15日（土）から3月30日（日）

観覧料：一般800円、高校・大学生600円

身体障害者手帳をご提示の方、第1種身体障害者手帳をご提示の方の付添者は1人が無料

お問合せ先 新潟市美術館 TEL 025-223-1622

●新潟市歴史博物館 みなとぴあ（新潟市中央区柳島町2-10）

開館時間：10月から3月は午前9時30分～午後5時

常設展観覧料：一般300円、高校・大学生200円、小・中学生100円

身体障害者手帳をお持ちの方、第1種身体障害者手帳をお持ちの方の付添者は1人が無料

企画展観覧料：その都度定めます。

催事名1 博物館講座「村の鍛冶屋」

内容：かつて村の鍛冶屋は日々の暮らしや生業に欠かせない存在でした。鍛冶屋の仕事を通じて、鍛冶屋と道具をめぐる社会的な背景について考えます。

日時：2月23日（日） 午後1時30分～3時

聴講料：無料、ただし資料代100円が必要です。

催事名2 開館10周年記念特別展「大新潟湊展」

内容：多くの回船でにぎわった江戸から明治期の新潟湊をテーマとし、県内外に所在する新潟と深くかかわる資料を集め展示します。そして全国的な視点から、新潟湊の役割や特色を体系的に明らかにします。

期間：3月21日（金・祝）～5月18日（日）

観覧料：一般600円、高校・大学生400円、小・中学生200円

身体障害者手帳をお持ちの方、第1種身体障害者手帳をお持ちの方の付添者は1人が無料

お問合せ先 新潟市歴史博物館 TEL 025-225-6111

●いくとぴあ食花（新潟市中央区清五郎地区）

開館時間：午前9時～午後5時

入場料：無料

施設概要：鳥屋野潟のほとりに位置し、新潟市が誇る食と花をメインテーマに、子どもから大人まで様々な体験と交流ができるエリアです。エリア内には、食と花を楽しみながら学べる「食育・花育セン

ター」、子どもたちが遊具を使って体を動かしたり、ものづくりで楽しむことができる「こども創造センター」、アルパカやヤギ、ヒツジなどと触れ合える「動物ふれあいセンター」があります。

お問合せ先 新潟市食育・花育センター（いくとぴあ食花内）
TEL 025-282-4181

●新潟市水族館 マリンピア日本海(新潟市中央区西船見町5932-445)

開館時間 通常は午前9時～午後5時

入館料 大人（高校生以上）1500円、小人（小・中学生）600円、
幼児（4歳から）200円

身体障害者手帳をお持ちの方は、大人（高校生以上）500円、小人
（小・中学生）200円、幼児（4歳から）66円

第1種身体障害者手帳をお持ちの方の付添者は1人が無料

催事名1 イルカショー（通年開催）

内容：ダイナミックなジャンプが人気のイルカショー。毎回のショーで、2名のお客様に代表としてイルカの胸びれに触れていただき、ご感想をお願いしています。（確率が高い午後3時30分からのショーがチャンス！）

開始時間：

平日・土曜日は、午前11時、午後0時30分・2時・3時30分

日曜日・祝日は、午前10時30分・11時30分、午後1時・2時・3時30分

催事名2 日本海大水槽解説（通年開催）

内容：大水槽の展示生物について解説します。また、波を起こす仕組みや水質管理方法なども分かりやすく説明します。

開始時間：平日・土曜日は、正午、午後2時30分

日曜日・祝日は、午後2時30分

催事名3 マリンサファリ給餌解説（通年開催）

内容：給餌タイムでは、スタッフの解説とともに大きなトドを観覧席の間近で見ることができます。

開始時間：平日・土曜日は、午前10時30分、午後2時30分

日曜日・祝日は、午前11時、午後2時30分

※トドの習性などにより実施できないことがあります。

催事名4 ペンギン解説（通年開催）

内容：絶滅のおそれのある鳥類、フンボルトペンギンの生態や体のつくり、生息環境についてペンギン海岸ゾーンで解説します。

開始時間：午前11時30分、午後1時30分

お問合せ先 マリンピア日本海 TEL 025-222-7500

●国営越後丘陵公園（長岡市宮本東方町字三ツ又1950番1）

開園時間：11月～3月は午前9時30分～午後4時30分

入園料：大人（15歳以上）400円、小人（小・中学生）80円、シルバー（65歳以上）200円

身体障害者手帳をお持ちの方及びその方の付添者1人は無料

※ 12月～3月は入園料及び駐車料金が無料となります。

催事名1 クリスマスローズフェスタ

内容：「冬の貴婦人」ともよばれるクリスマスローズの祭典です。

生産地・新津直送のクリスマスローズ約200点を展示するほか、苗の販売もあります。期間中の日曜日はクリスマスローズ栽培教室や育種家の講演会を、土・日・祝日にはクラフト教室を開催します。

また、2/23（日）、3/2（日）、3/9（日）はお買い得なオークションも開催します。

期間：2月15日（土）～3月9日（日）

催事名2 雪割草まつり

内容：雪解けとともに花開く「春の妖精」雪割草を展示します。

3月中の土日祝は屋内で大規模な展示即売会を開催。4月の雪解け後には、園内の雪割草群生地ですべて12万株の雪割草が開花します。

期間中は雪割草、山野草の展示や、絵手紙展、ドレス展示、土日祝には雪割草の押し花を使ったクラフト教室を開催します。

期間：3月15日（土）～4月13日（日）

お問合せ先 越後公園管理センター TEL 0258-47-8001

●新潟県立近代美術館（長岡市千秋3丁目278-14）

開館時間：午前9時～午後5時（チケット販売は午後4時30分まで）

コレクション展観覧料：一般420円、大学生・高校生200円、中学生以下無料

身体障害者手帳をお持ちの方、第1種身体障害者手帳をお持ちの方の付添者は1人が無料

企画展観覧料：その都度定めます。企画展チケットでコレクション展もご観覧いただけます。

催事名1 企画展「生誕120年 岩田正巳展—新興大和絵、その清澄なる世界—」

内容：現在の三条市に生まれた日本画家・岩田正巳（1893～1988）は、大和絵の流れを汲む松岡映丘に師事し、門人とともに新興大和絵会、国画院を結成する一方、官展にも出品して風景画家・歴史画家としての名声を得ました。戦後には温雅で格調高い画風を確立させ、94歳で没するまで、ほぼ毎年日展に出品を続けました。

本展では70年以上に及ぶ正巳の画業を回顧し、併せて正巳とつながりのあった松岡映丘、山口蓬春らの作品を紹介します。

期間：3月1日（土）～4月13日（日）

観覧料：一般1,000円、大学・高校生800円、中学生以下無料

催事名2 コレクション展（常設展）第5期

内容：近代美術館所蔵品より選りすぐった作品を3つのテーマで展示します。

★展示室1 テーマ「朝に夕に」

★展示室2 テーマ「近代美術館の名品」

★展示室3 テーマ「齋藤三郎生誕100年（前期）、セザンヌの水浴（後期）」

期間：前期 ～3月9日（日）まで

後期 3月11日（火）～4月13日（日）

観覧料：企画展開催中は企画展チケットで観覧できます。

催事名3 美術鑑賞講座

(1) テーマ「セザンヌの水浴をめぐって」

日時：3月15日（土） 午後2時～3時30分

内容：南仏出身の画家セザンヌが生涯に200点以上描いたという

「水浴」図を中心に、神話や構図といった視点から、絵画の秘密に迫ります。

講師：美術館学芸課長代理 平石 昌子氏

会場及び定員：講堂 約165席（先着順、事前申込み不要）

聴講料：無料

(2) テーマ「新興大和絵」の時代

日時：3月22日（土） 午後2時～3時30分

内容：「岩田正巳展」の開催にあわせ、大正から昭和初期に画壇で

脚光を浴びた新興大和絵運動の位置づけについて考察します。

講師：美術館主任学芸員 長嶋 圭哉氏

会場、定員及び聴講料：(1) と同じ

催事名4 映画鑑賞会

開催日時と題名：

★2月22日（土） 午後2時～4時

「ローマの休日」（1953年 アメリカ）

★3月16日（日） 午後2時～3時30分

「巴里の屋根の下」（1930年 フランス）

会場及び定員：講堂 約165席（先着順、事前申込み不要）

鑑賞料：無料

お問合せ先 新潟県立近代美術館 TEL 0258-28-4111

●新潟県立歴史博物館（長岡市関原町1丁目字権現堂2247番2）

開館時間：午前9時30分～午後5時（チケットの販売は午後4時30分まで）

常設展示観覧料：一般500円、高校・大学生200円

身体障害者手帳をお持ちの方、第1種身体障害者手帳をお持ちの方の付添者は1人が無料

企画展観覧料：その都度定めます。

催事名1 冬季企画展「謎の古地図—新潟平野が海の底か！？—」

内容：県内各地にはいわゆる寛治康平の図と呼ばれる新潟平野の大部分が海中に没している古地図が伝来しており、平安時代の新潟の様子を描いたとされています。ただし、最近の研究ではこれらの地図は後世に作られ流布されたものとされる論争がおきています。本展では、これらの古地図に関する最新の研究成果と越後の大津波伝説を紹介すると同時に、これらの絵図が広がっていく背景などについて考えます。

開催期間：2月8日（土）～3月23日（日）

観覧料：一般500円、高校・大学生200円、中学生以下無料

身体障害者手帳をお持ちの方、第1種身体障害者手帳をお持ちの方の付添者は1人が無料

催事名2 企画展関連の講演会と講座

(1) 記念講演会「平安越後古図と江戸時代後期の知的ネットワーク」

内容：県内をはじめ、全国に残された謎の「越後古図」について、その成立や伝播の様子について検討します。

講師：新潟大学人文学部准教授 堀 健彦氏

日時：2月8日（土） 午後1時30分～3時

会場：講堂 定員 150名

聴講料：無料 ただし、事前の申込みが必要です。

申込方法：電話、FAX、はがき又はメールによりお申込み下さい。

★TEL 0258-47-6135 ★FAX 0258-47-6136

★ハガキ送付先 新潟県立歴史博物館 経営企画課

〒940-2035 長岡市関原町1丁目字権現堂2247番2

★E-mail koryu@nbz.or.jp

(2) 講座「いわゆる『越後古図』を読むために」

内容：平安時代、康平年間・寛治年間の越後国の様子を描いたとされ流布している古図について、その前提となる越後国の平安時代の様子について解説します。

講師：新潟県立歴史博物館研究員 浅井 勝利氏

日時：2月15日（土）午後1時30分～3時

会場：研修室 定員 50名

聴講料及び申込方法：(1)の記念講演会と同じ。

(3) 記念講演会「古代遺跡の分布と古地図」

内容：いわゆる「越後古図」が描いたとされる平安時代の越後国の様子を遺跡のあり方から探り、地図に描かれた内容を検証します。

講師：(株)ノガミ埋文調査部調査研究室長 戸根 与八郎氏

日時：2月23日(日)午後1時30分～3時

会場：講堂 定員150名

その他：聴講料、申込み方法は(1)の記念講演会と同じ。

催事名3 体験コーナー「平安時代の貴族に変身」

内容：男の子は狩衣(かりぎぬ)、女の子は十二単を着て、平安時代の貴族に変身します(基本は子ども用の体験ですが、身長により大人でも体験可能です)。

期日及び時刻：2月15日(土)～3月23日(日)の土・日・祝日

会場：常設展示室内体験コーナー

参加料：体験参加は無料ですが、常設展示観覧料が必要です。

催事名4 体験コーナー「わくわく歴史体験」

内容：歴史パズル、郷土玩具などで遊びます。

開催期間：3月29日(土)～4月13日(日)の土・日

会場及び参加料：催事名3と同じ。

お問合せ先 新潟県立歴史博物館 TEL 0258-47-6130

●長岡市立中央図書館(長岡市学校町1丁目2番2号)

開館時間：午前9時30分～午後7時

催事名 映画会

開催日時と題名：

★3月7日(金) 午後2時～4時(午後1時30分開場)

「スープ・オペラ」(2010年 日本)

★3月30日(日) 午後2時～3時35分(午後1時30分開場)

「地下鉄のザジ」(1960年 フランス)

会場及び定員：2階講堂 先着180名 直接会場へお越しください。

鑑賞料：無料

お問合せ先 長岡市立中央図書館 TEL 0258-32-0658

●長岡市寺泊水族博物館（長岡市寺泊花立9353-158）

開館時間：午前9時～午後5時

入館料：一般700円、中学生450円、小学生350円、幼児（3歳以上）150円

身体障害者手帳をお持ちの方は、一般350円、中学生225円、小学生175円、幼児（3歳以上）100円

第1種身体障害者手帳をお持ちの方の付添者は1人が無料

通年催事1 マリンガールによる餌付けショー

内容：マリンガールが水槽の中で魚たちに直接エサを食べさせます。魚たちの餌の食べっぷりにビックリします。

時間：午前は10時15分、11時30分

午後は1時30分、3時

通年催事2 テッポウウオの餌取り射撃ショー

内容：水を飛ばして水上の餌を落として食べるテッポウウオ、その素晴らしい命中率は驚きです。

時間：午前10時・11時、午後1時・2時・3時15分

お問合せ先 長岡市寺泊水族博物館 TEL 0258-75-4936

●上越市立水族博物館（上越市西本町4丁目19番27号）

開館時間 午前9時～午後5時

入館料 一般（高校生以上）900円、小・中学生400円、幼児（3歳以上）200円

身体障害者手帳をお持ちの方は、一般（高校生以上）450円、小・中学生200円、幼児（3歳以上）100円

障害の程度が1級から3級の身体障害者手帳をお持ちの方の付添者は1人が障害のある方と同額

通年催事 光と音の演出

内容：一番大きな水槽・マリンジャンボでは、約40種2,000匹の海水魚が優雅に泳いでいます。その水槽では、まばゆい光と綺麗な音色で魚たちが海の中を泳いでいる様子を演出しています。

時間：午前10時45分・11時45分

午後0時45分・1時45分・3時・3時45分

通年展示 ビーチランド観察

内容：ビーチランドでは、磯や岩礁などにすむメジナ、イソギンチャク、ヒトデなどいろいろな生きものが観察できます。これらの生きものを実際に手に取り、直接感じるすることができます。また、水中でそれぞれのすんでいる場所の違い、動きの違いなどを観察することができます。

お問合せ先 上越市立水族博物館 TEL 025-543-2449